

## 本年度実施予定のモデル事業について

- せとうちパレットプロジェクト新造船導入による  
海事観光振興（西日本旅客鉄道株式会社）
- 神戸空港・神戸港を活用したクルーズ観光の可能性

# せとうちパレットプロジェクト 新造船導入による海事観光振興（概要）

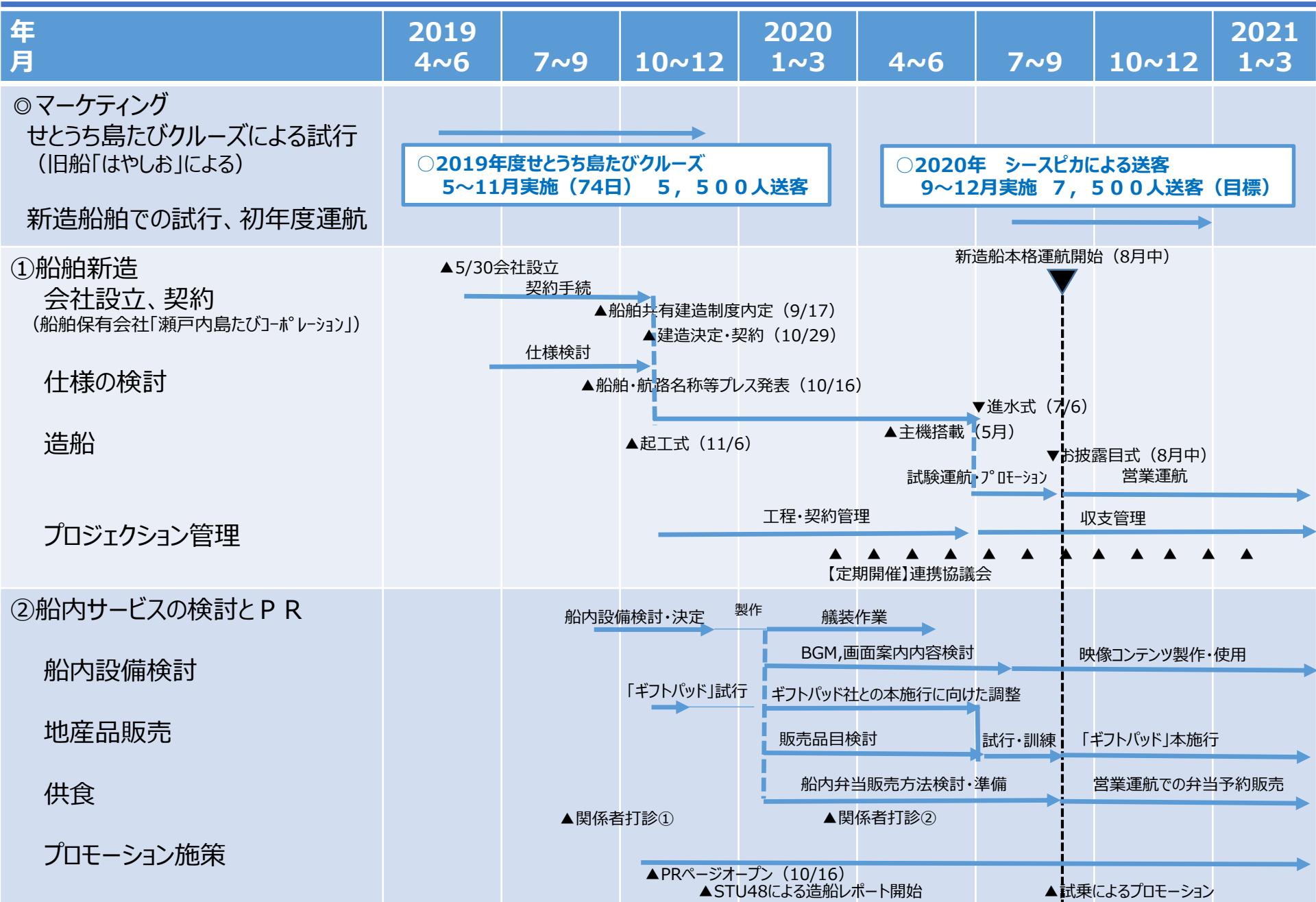
## 1. 2019年度の取り組みの振り返り

- ・2018年度に引き続いての「せとうち島たびクルーズ」によるテストマーケティングの実施
  - －国内団体送客型から個人型・インバウンド向け志向への脱皮に向けた試行
- ・新造船導入に向けた本格検討、建造着手
  - －船舶保有会社の設立と鉄道・運輸機構（JRTT）の共有建造制度の活用
- ・地域と連携した観光開発に向けた枠組み構築
  - －国土交通省中国運輸局・瀬戸内海汽船・JR西日本による三者連携協定締結

## 2. 2020年度の取り組み方針

- ・新造船の着実な建造・竣工と安全運航
  - －7/6進水式～宣伝材料撮影～8月下旬より本格運航開始
- ・戦略的・計画的なプロモーションによる販売の成功
  - －国・地域関係者と連携した販売・サービス企画の推進
  - －新型コロナウイルス感染拡大後の環境変化を踏まえた対応
    - ・国家施策の反転攻勢後は、国内需要を中心に取り込みつつ海外・個人客対応準備
    - ・アクティブシニア層に限らず若年層の取り込みを企図したPR戦略
    - ・次年度オリパラ実施を見据えたインバウンド需要対応への構え
    - ・安全、安心で快適なクルーザー旅行の訴求
- ・地域との連携による着地観光開発の推進
  - －観光庁・関係自治体による外客受入環境整備とコンテンツ開発への進捗フォロー、働きかけ
  - －「海洋周辺地域魅力向上補助金」等活用を通じた国交省・観光庁・自治体との連携強化

# 新造船「シースピカ」導入スケジュール（造船・サービス関連）



# 【参考】 新造船「シースピカ」 船内設備等について



● 前面の4面スクリーンにてデッキからの前面眺望と案内モニター（多言語）表示



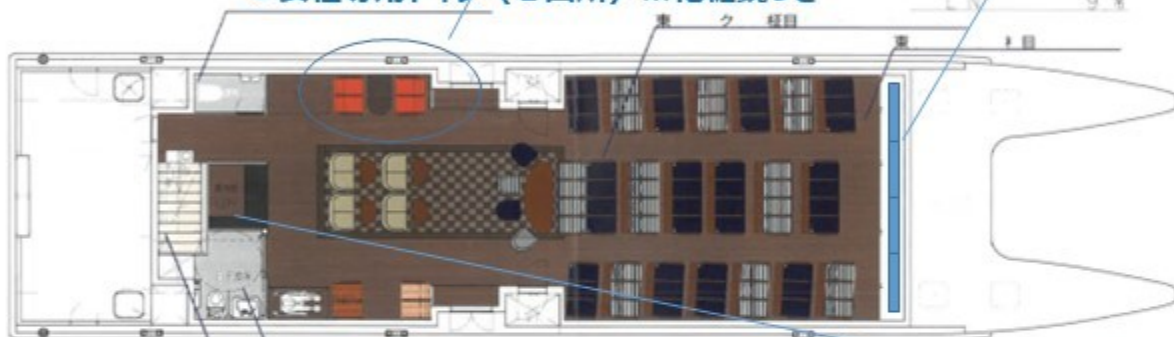
● 夜間ライトアップ照明あり

● スペース必要時は座席取り外しも可能

● 1Fキャビン

- ・座席は計90席/Wifi整備
- ・各座席にテーブル・ドリンクホルダー設置
- ・窓側座席は3°傾斜/A C電源付

● 女性専用トイレ（1箇所）※化粧鏡つき



・少人数貸切時は肘掛跳上、クッション設置

● バリアフリートイレ（1箇所）※おむつ交換台あり

● 車いす用階段昇降機つき

● 2Fデッキ「スピカテラス」



● 売店・案内ブース



地産の飲食物等（少量）販売、試食品提供  
+ 電子加ゲギガ（ギガパッド）により別送販売

● 少人数貸切時はデッキにアルミ製座席設置可

- 広島港・プリンスHには待合ラウンジ・エリア整備
- 寄港地にて、観光後乗船時、ウェルカムドリンク提供

※画像・音響設備一式は多言語対応のため  
観光庁外客受入補助金対象（予算通知済）



# 新造船「シースピカ」導入スケジュール（販売・着地整備）

年月	2019 4~6	7~9	10~12	2020 1~3	4~6	7~9	10~12	2021 1~3
③販売体制検討 個人型販売試行 MaaS 在庫管理方法整備  販売チャネル拡大		2019年度マーケティング 「setowa」/個人型試行販売		在庫管理方法検討・整備、特設サイト制作（SKK） コース・販売条件検討	マーケティング・セールス（国内外） モニター・FAMツアー	本施行に向けた調整	「setowa」本販売 販売/チャーター受付	
④着地開発 着地整備促進の働きかけ		地域との課題意識共有	予算化働きかけ				地元による着地整備の実施推進	

## ①広島（宇品港）

課題：観光港としての機能充実  
 具体的取組：待合室整備（瀬戸内海汽船）  
 めいぶるーぶ、鉄道等との案内充実

JR西日本・観光開発担当により  
 「シースピカ特典」付与を地元調整中

## ⑤尾道（尾道港・生口島/瀬戸田港）

課題：港～観光地までの案内等充実  
 具体的取組：瀬戸田港～耕三寺周辺にかけての案内サイン及びコンテンツの整備



## ②呉（呉港・下蒲刈島/丸谷港・大崎下島/御手洗港）

課題：地域との連携、おもてなし  
 具体的取組：・下蒲刈島でのレンタサイクル貸出  
 ・島しょ部への案内サインの整備

## ③竹原（竹原港）

課題：港～街並み保存地区への周遊  
 ※大久野島～竹原港アクセス整備済  
 具体的取組：・案内サインの充実  
 ・二次アクセスの整備

## ④三原（三原港）

課題：港及び港～駅に至るルート整備  
 具体的取組：・三原港の美化等整備  
 ・マリンロードの案内サイン及びコンテンツ整備

## 概要

- 神戸市は世界各国のクルーズ客船が入港する国際港湾都市であり、ベイエリアを中心に数多くの海事観光資源がある。
- 神戸空港は都心部に近い利便性の高い空港であり年間313人万が利用（平成30年度）
- 各モードとの連携、各地域間の連携を図りながら、神戸市内観光の他、湾内クルーズやナイトクルーズ等、船を活用した観光ツアーの推進により海事観光の更なる発展に寄与することが期待される。
- 現在、神戸市客船誘致協議会等において神戸港を活用したフライ&クルーズ助成や観光バス助成が実施されているところ、今後、「海洋周辺地域魅力向上補助金」等も活用し、更なる魅力的なツアー造成や案内等の整備等に取り組んでいく。

## イメージ図



### 【参考】

#### ■神戸港フライ&クルーズ助成 (対象事業)

- 1)神戸港発着クルーズと飛行機を組み合わせた「フライ&クルーズ」企画であること
- 2)利用空港が神戸空港または関西国際空港であること
- 3)日本国内で販売する企画旅行であること

(助成額)  
企画あたり20万円とし、予算の範囲内で助成を行う。企画内容に以下1)または2)を含む場合、上記に加えてそれぞれ10万円を加算する。1)神戸発着クルーズ実施前または後に神戸市内で宿泊を伴うもの

2)明石海峡を航行する瀬戸内クルーズ  
[https://www.city.kobe.lg.jp/a14075/kanko/leisure/harbor/passenger/fly\\_cruise.html](https://www.city.kobe.lg.jp/a14075/kanko/leisure/harbor/passenger/fly_cruise.html)

#### ■神戸港観光バス助成 (対象要件)

- 1) 目的地が神戸市内のみであること（市外の観光地を含んでいないこと）
- 2) 2箇所以上の観光施設等を訪問すること
- 3) ツアーの催行時間が3時間以上であること
- 4) 借上げ車両を利用した寄港地観光ツアーであること（参加者8人以上）

(助成額)  
最大3万円/台（神戸市客船誘致協議会分、兵庫県分は別途最大3万円/台）

<https://www.city.kobe.lg.jp/a14075/kanko/leisure/harbor/passenger/incentive.html>